

しらいしえりこ
白石恵理子さんプロフィール

福井県生まれ。京都大学教育学部卒、同大学院博士課程中退。大津市発達相談員、京都大学教育学部助手、大阪総合福祉専門学校（現大阪健康福祉短期大学）を経て、1996年より滋賀大学教育学部。2004年より教授、2025年より名誉教授。

著書

『障害のある人の発達保障——成人期のなかまたちが教えてくれること 青年・成人期の発達保障——』 全障研出版部 2018

編著『発達の中の煌めき 上 子ども・障害のある人びとの発達』全障研出版部
2024

編著『新版 教育と保育のための発達診断 上 発達診断の基礎理論』全障研出版部
2022

編著『新版 教育と保育のための発達診断 下 発達診断の視点と方法』全障研出版部
2021

共著『子どもと保育 0歳児』（改訂版）～『子どもと保育 5歳児』かもがわ出版
2011

白石さんは、人間発達研究所の運営委員として、設立当初は、「発達診断セミナー<心理専門職コース>」事務局を担われました。冬の講座では、本部で「速報」の原稿を書いておられた姿を思い出します。「(障害者の)高齢期プロジェクト」「発達相談研究会」など、共同研究グループの立ち上げにも尽力いただきました。人間発達研究所紀要編集委員でもあります。

障害者作業所などの実践現場を研究のフィールドに、就学前から成人期までの知的障害・自閉スペクトラム症児者における発達と発達保障を研究テーマにしておられます。人間発達研究所の30周年記念誌『人間発達研究の創造と展開』群青社（2016）では、「多様な一貫性を保障する——田中昌人の指導論——」を執筆されました。

今回は、田中昌人らの「可逆操作の高次化における階層-段階理論」における「形成期」とはどんな時期なのかもお話いただく予定です。

余談ながら、白石さんが母校の高校について話されたとき、「先輩に俳優の宇野重吉がいる」と嬉しそうに話してくださったのが記憶にあります。

2025年8月8日

文責 嶋村伸子